

1. アンケート調査の概要

【アンケート実施日】

平日：平成30年6月12日（火） 晴れ（17時台に降雨）
 休日：平成30年6月17日（日） 晴れ
 6月30日〆切

【調査内容】

- ・利用の目的、行先、頻度、時間帯などの利用状況を調査
- ・利用者のはなバスに対する意識（満足状況等）を調査

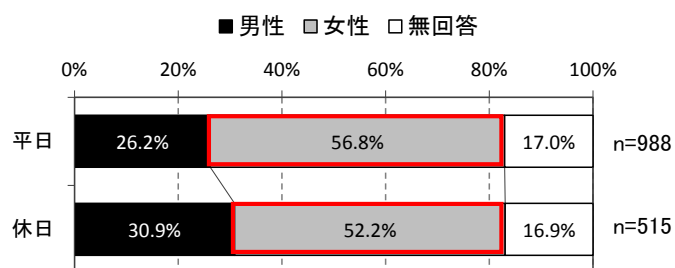
【アンケートの配布・回収状況】

| | 平日 | 休日 | 合計 |
|------|--------|--------|--------|
| 利用者数 | 3,741人 | 2,759人 | 6,500人 |
| 配布数 | 2,226票 | 1,501票 | 3,727票 |
| 受取率 | 59.5% | 54.4% | 57.3% |
| 回収数 | 988票 | 515票 | 1,503票 |
| 回収率 | 44.4% | 34.3% | 40.3% |

2. 回答者の属性等

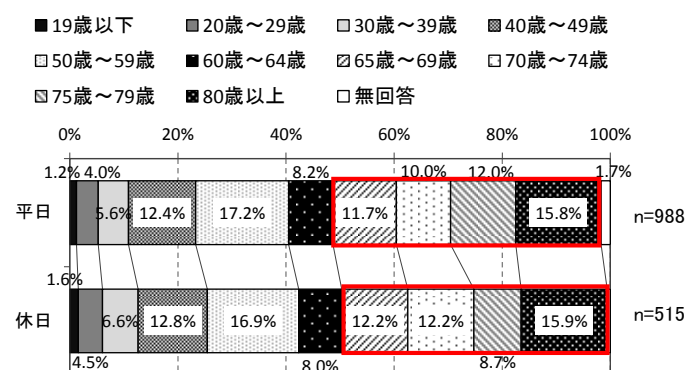
(1) 性別

回答者は、女性の方が多かった。



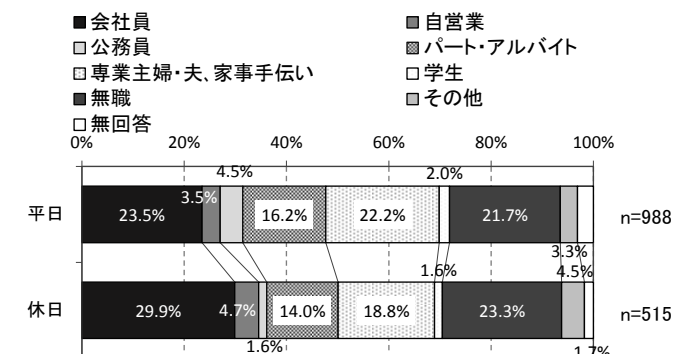
(2) 年齢

65歳以上の高齢者の方からの回答が多かった。



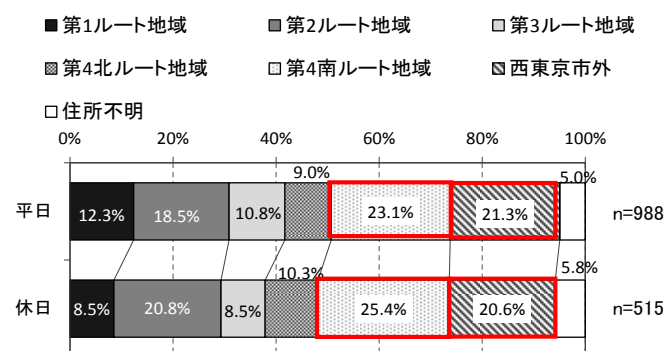
(3) 職業

会社員、無職、専業主婦等の方の回答が多かった。



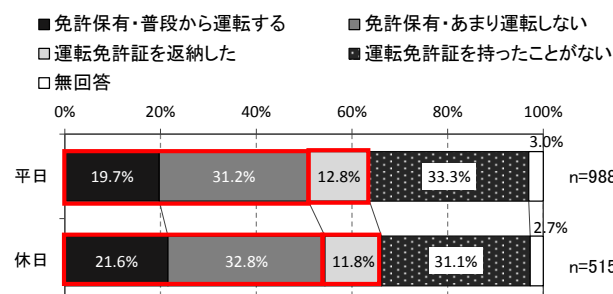
(4) 居住地

第4南ルート地域が最も多い。
 なお、西東京市外の方は2割程度であった。



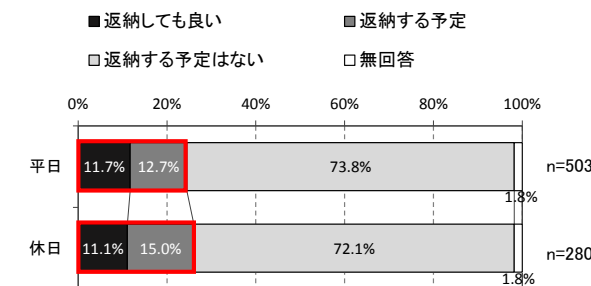
(5) 運転免許の保有状況 車の運転状況

半数以上が運転免許を保有しているが、そのうち半数以上はあまり運転しないと回答している。
 また運転免許を返納した方は全体の1割程度であった。



(6) 運転免許の保有者からみた返納予定

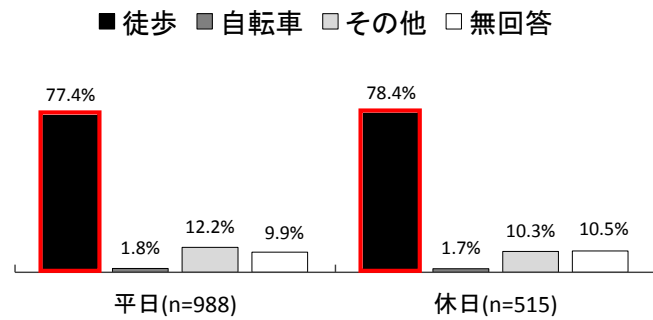
運転免許の保有者で「返納しても良い」「返納する予定」と回答した方は、全体の1/4弱であった。



3. はなバスの利用状況

(1) バス停までの移動手段

徒歩が最も多く約8割弱である。

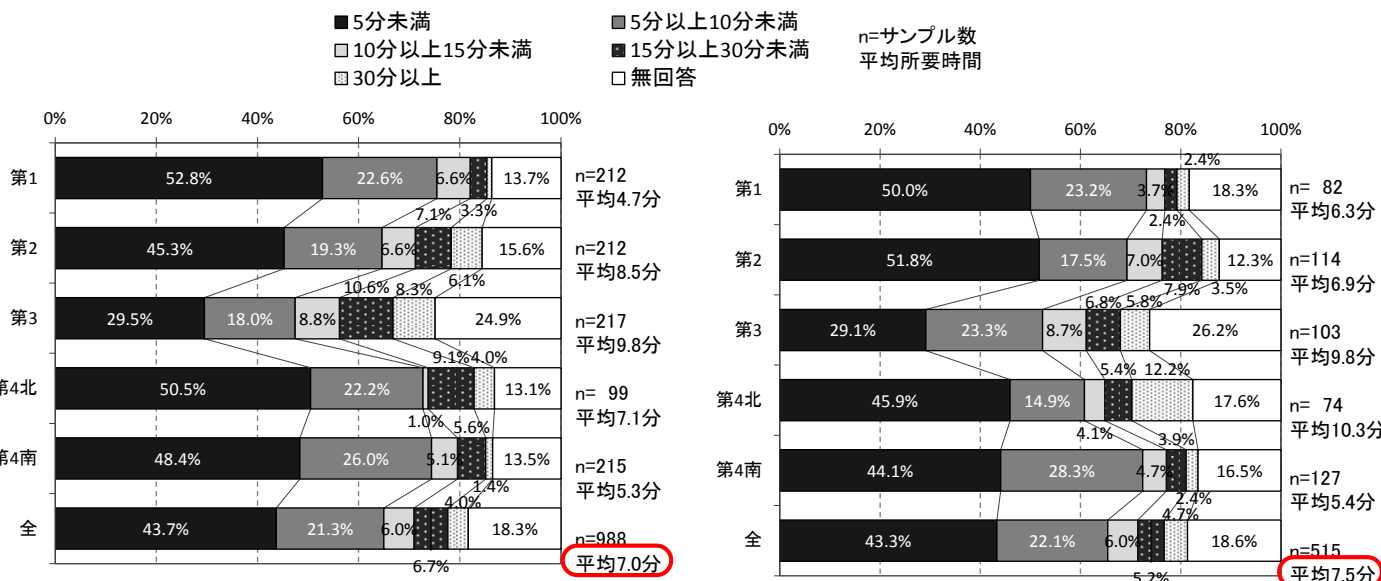


(2) はなバスのバス停までの所要時間

全体平均で7.0分～7.5分であった。ルート別にみると、第1・4南は、5～6分程度である一方、第2・3・4北は、7分～10分程度となっている。

<平日>

<休日>

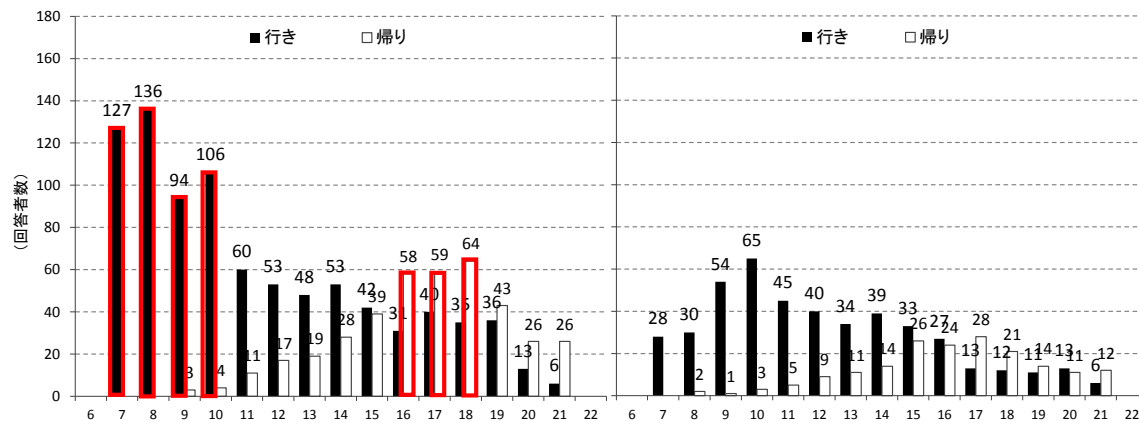


(3) 回答者の利用時間帯 (全ルート)

平日の利用時間帯は、行きは朝7～10時台、帰りは16時～18時台の利用が多い一方、休日の利用時間帯には、平日ほど大きな利用傾向はない。

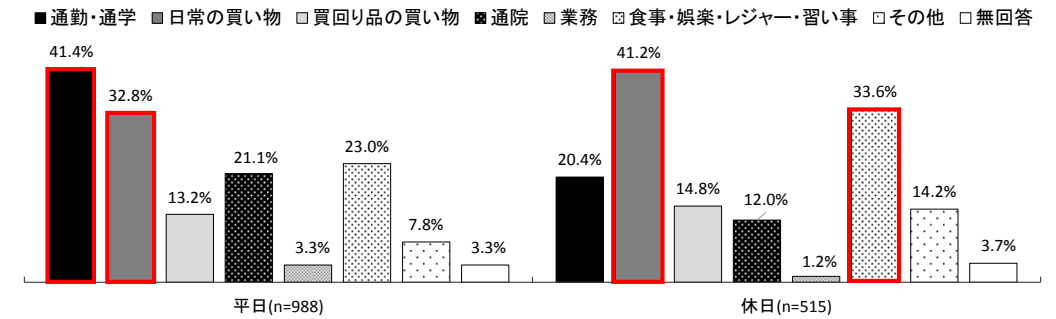
<平日>

<休日>



(4) はなバスの利用目的 (複数回答)

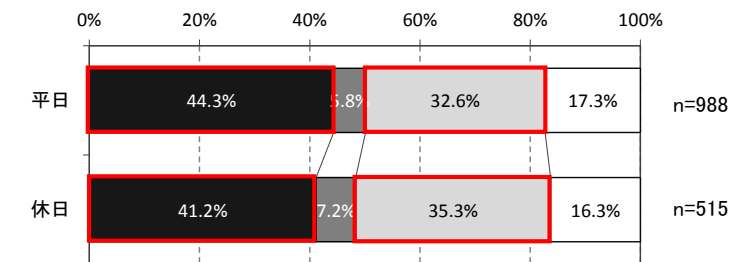
平日は「通勤・通学」と「日常の買い物」での利用が多く、休日は「日常の買い物」と「食事・娯楽・レジャー・習い事」での利用が多い。



(5) はなバスからの乗り継ぎ状況

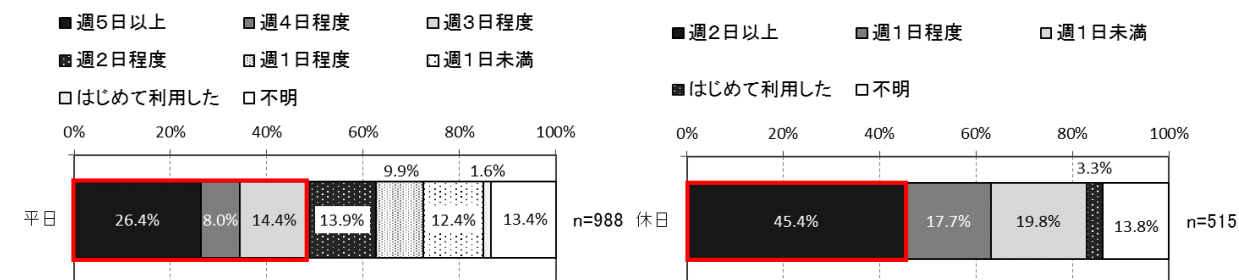
平日・休日とも鉄道への乗り継ぎが最も多いが、目的地まで乗り継ぎなしで利用されている方も多い。

乗り継ぎ先



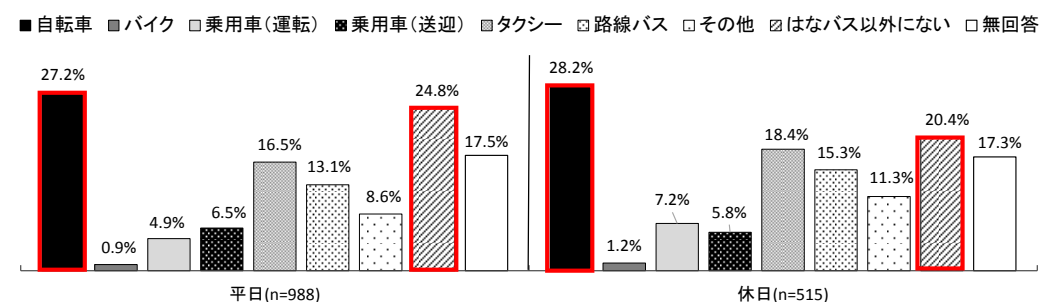
(6) はなバスの利用頻度

平日は週3日程度以上の利用が約半数、休日は週2日以上の利用が45%あり、ある程度日常的に利用されていると考えられる。



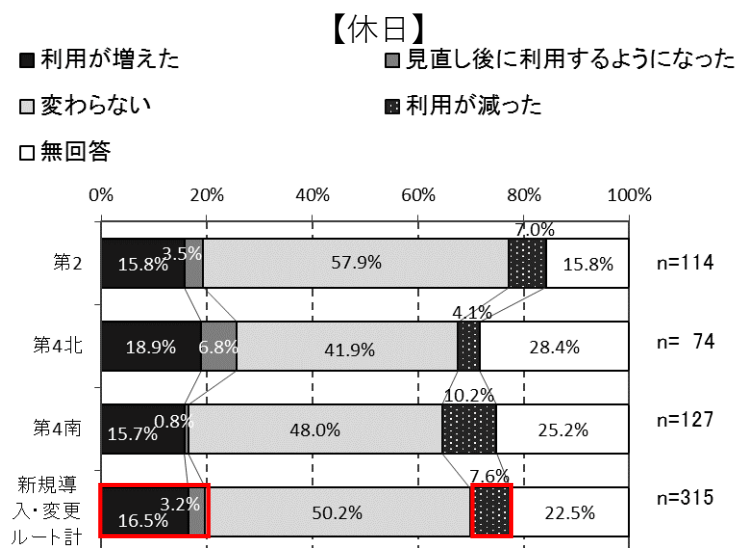
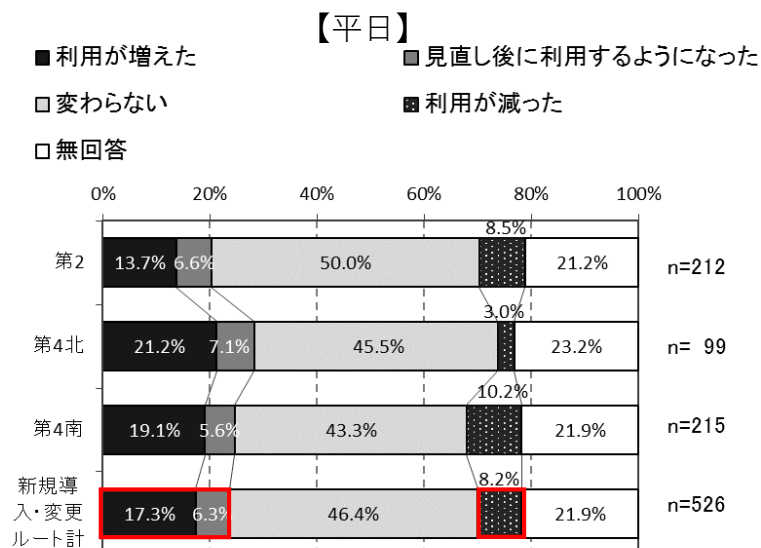
(7) はなバスに代わる移動手段 (徒歩以外) (複数回答)

自転車が多く、次いで、はなバスに代わる移動手段はないという回答が多い。



4. H28年度のルートの新規導入や変更後の利用状況の変化

約半数が利用状況の変化がないと回答している一方、「利用が増えた」「見直し後に利用するようになった」と回答した方は2割程度、「利用が減った」と回答した方は8%程度であった。



5. はなバスの運行内容に関する満足度と、許容可能な待ち時間

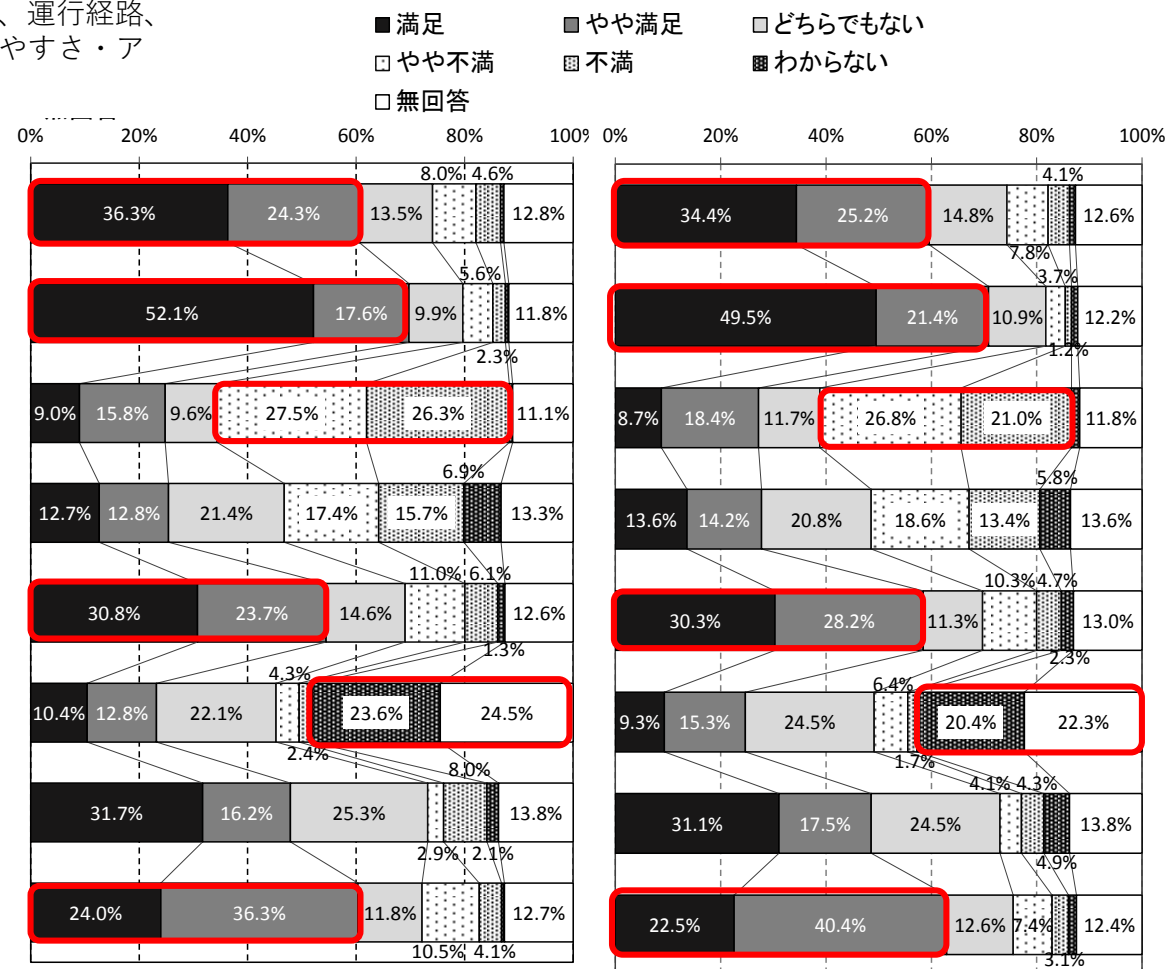
【運行内容に関する満足度】

総合評価としては約6割が「満足」「やや満足」と回答しており、そのうち満足度の高い項目は「行先、運行経路、乗車時間」や「バス停までの距離」、「定時性」が挙げられる一方、「運行本数」や「ホームページの見やすさ・アクセスのしやすさ」は満足度が低い。

- (ア) 行き先や運行経路、乗車の所要時間
回答者の約6割程度が「満足」「やや満足」と回答。 ア)行き先、運行経路、乗車時間
- (イ) 最寄のはなバスのバス停までの距離
回答者の約7割程度が「満足」「やや満足」と回答。 イ)はなバスのバス停までの距離
- (ウ) 運行本数
回答者の約6割程度が「不満」「やや不満」と回答。 ウ)運行本数
- (エ) 始発時刻・終発時刻
二分化傾向にあった。 エ)始発時刻・終発時刻
- (オ) 定時性
回答者の約5～6割程度が「満足」「やや満足」と回答。 オ)定時性について
- (カ) ホームページの見やすさやアクセスのしやすさ
回答者の約4～5割弱が「わからない」「無回答」と回答。 カ)ホームページの見やすさ・アクセスのしやすさ
- (キ) 小学生による車内放送
回答者の約5割程度が「満足」「やや満足」と回答。 キ)小学生による車内放送
- (ク) 総合評価
回答者の約6割程度が「満足」「やや満足」と回答。 ク)総合評価

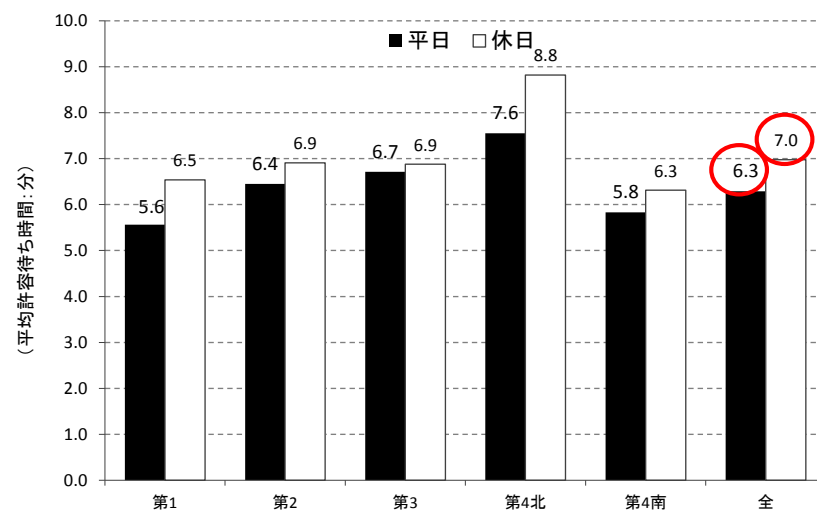
<平日>n=988

<休日>n=515



【遅延時の許容可能な待ち時間】（平均値）

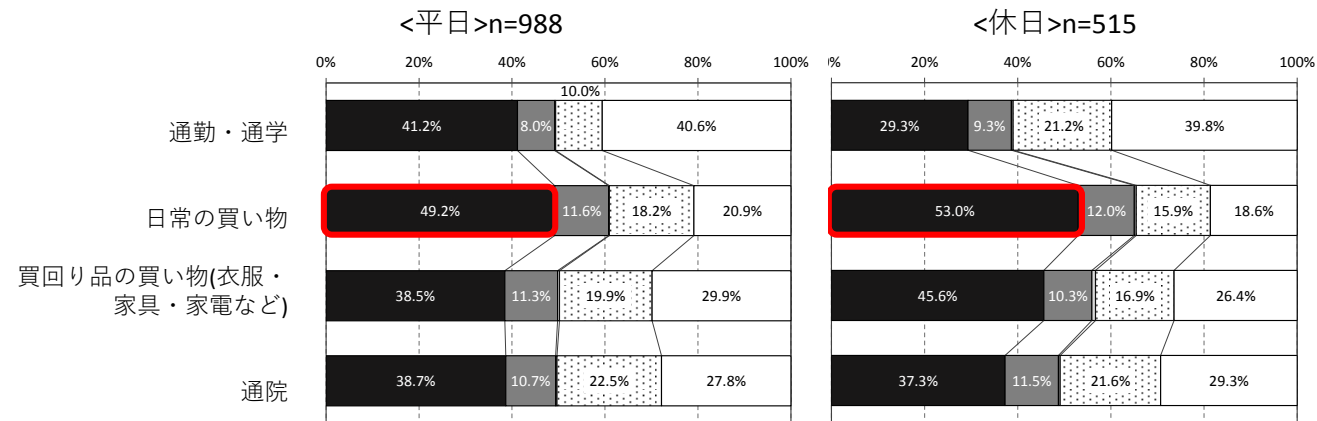
平日平均6.3分、休日平均7.0分であった。



6. はなバスの必要性について

(1) 外出行動におけるはなバスの役割

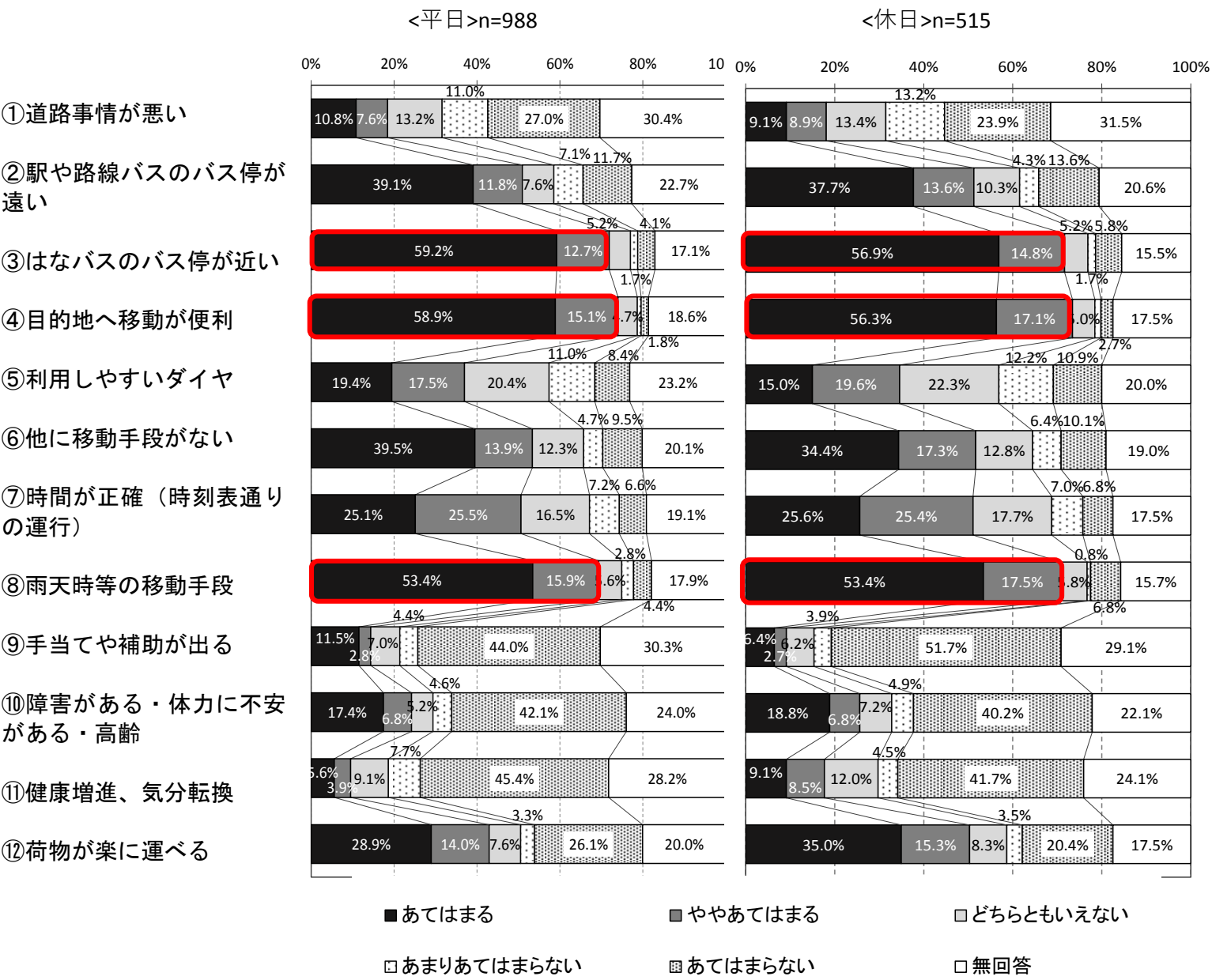
目的別でみると「日常の買い物」において「はなバスがあると外出しやすい」と回答した方が最も多い。



- はなバスがあると外出しやすい
- はなバスがあってもなくても、外出行動に変化はない
- はなバスがあってもなくても外出しづらい
- この利用目的ははなバスを利用しない
- 無回答

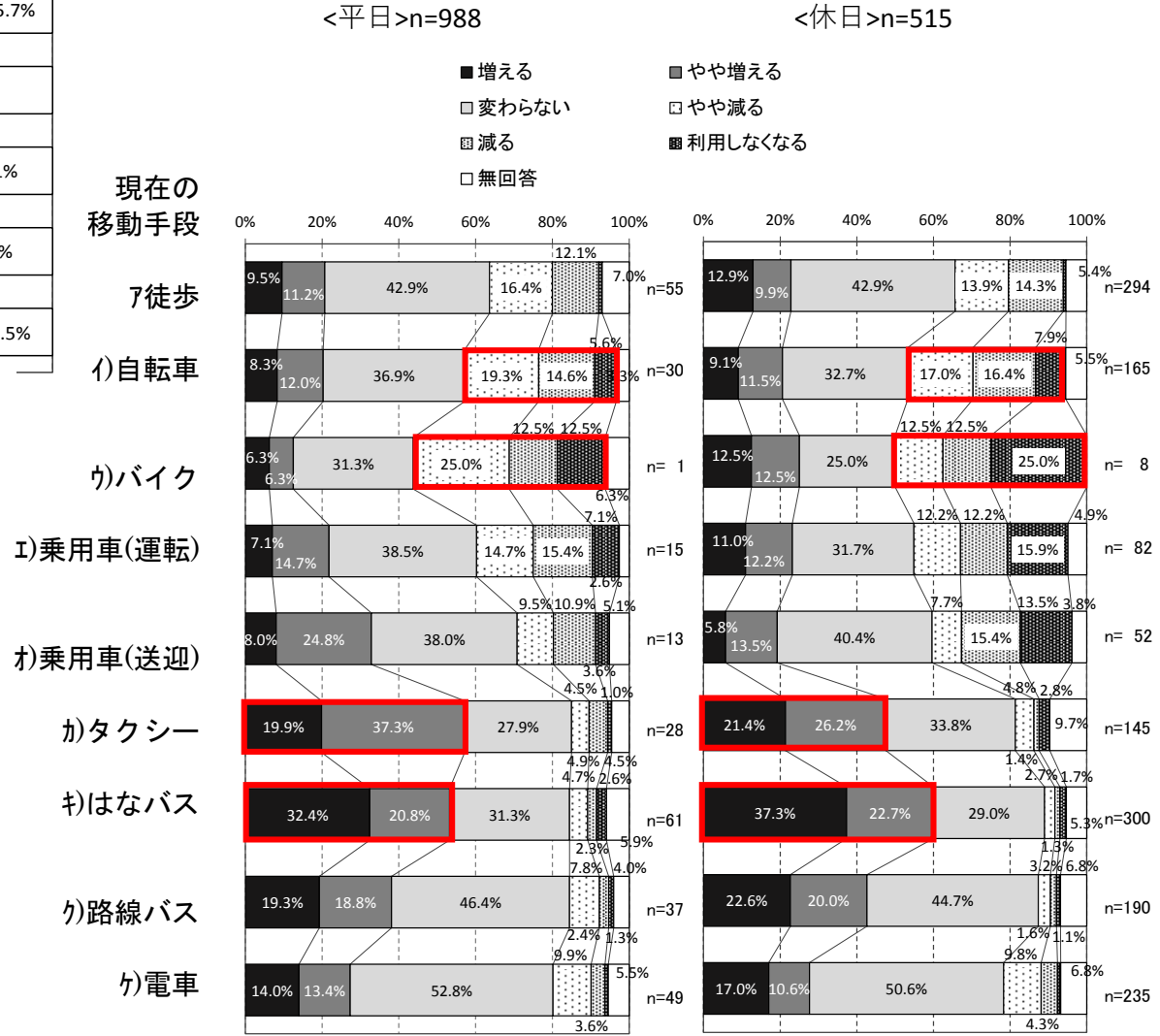
(2) はなバスを利用する理由・必要とする理由

「③はなバスのバス停が近い」「④目的地への移動が便利」「⑧雨天時等の移動手段」の項目について「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した方が多い。



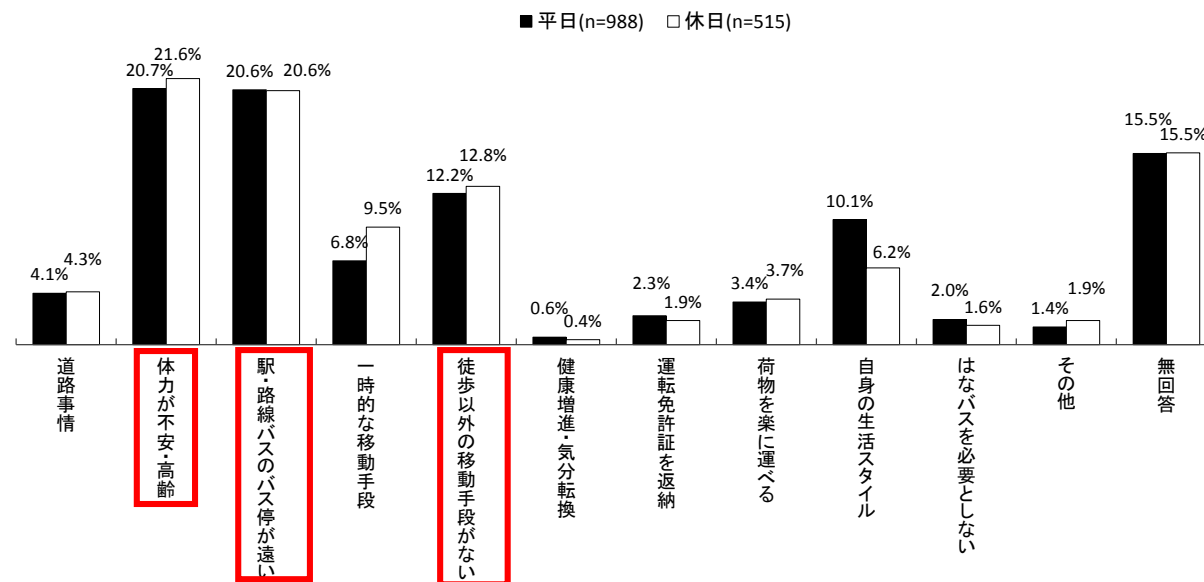
(3) 現在の移動手段と10年後の利用状況

どの移動手段も3~4割程度は「変わらない」と回答している一方、現在の移動手段が「タクシー」「はなバス」の方は10年後「増える」「やや増える」と回答した割合が他の移動手段に比べ多い。
現在の移動手段が「自転車」「バイク」の方は、10年後「やや減る」「減る」「利用しなくなる」と回答した割合が他の移動手段に比べ多い。



(4) 10年後にはなバスを必要とする理由（第1位のみ抜粋）

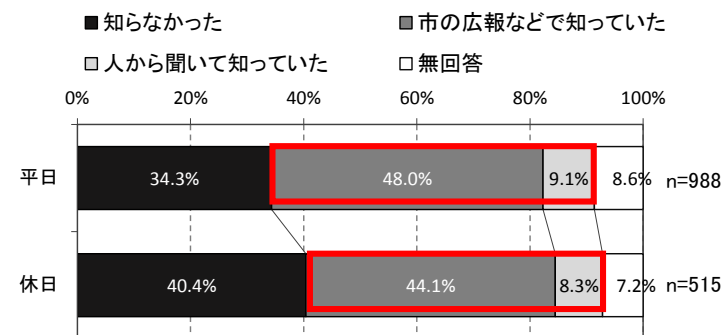
「体力が不安・高齢になるため必要」、「駅・路線バスのバス停が遠いので必要」とする理由が最も多く、ついで「徒歩以外の移動手段がない」という理由が多い。



7. はなバスの必要性について

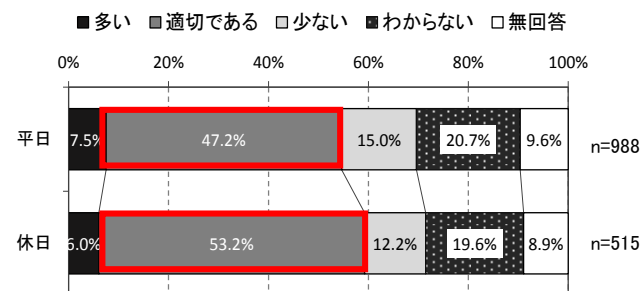
(1) 運行補助の認知度

約4割の方が運行補助を「知らなかった」と回答している。



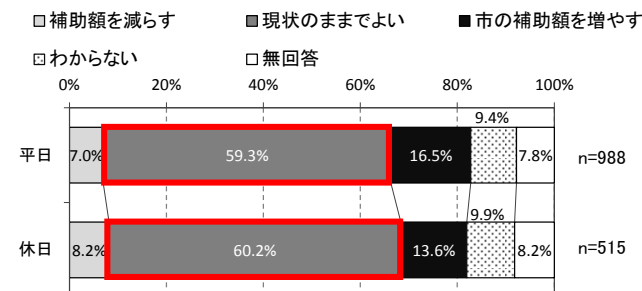
(2) 運行補助の適切さ

約5割の方が運行補助額は「適切である」と回答している。



(3) 運賃設定と市の補助額の関係

約6割の方が「現状のままでよい」と回答している。



(4) はなバスに関する運賃収入や経費などに対する意識

「ア)自分や地域住民ではなバスを支えたほうが良い」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が多い一方、「イ)利用者負担（運賃値上げ）で支えたほうが良い」や「ウ)ルートの短縮など運行経路を見直したほうがよい」の項目は、「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が少ない。

ア) 自分や地域住民ではなバスを支えたほうが良い
・・・「そう思う」「ややそう思う」と回答した方は、6割程度。

イ) 利用者負担（運賃の値上げ）で支えたほうが良い
・・・「そう思う」「ややそう思う」と回答した方は、4割程度。

ウ) ルートの短縮など運行経路を見直したほうが良い
・・・「そう思う」「ややそう思う」と回答した方は、2割程度。

エ) 利用者の少ない時間帯は減便など運行ダイヤを見直したほうが良い
・・・「そう思う」「ややそう思う」と回答した方は、3割程度。

オ) 市の補助額を増やして対応したほうが良い
・・・「そう思う」「ややそう思う」と回答した方は、5割程度。

ア)自分や地域住民で、はなバスを支えたほうが良い

イ)利用者負担(運賃の値上げ)で支えたほうが良い

ウ)ルートの短縮など運行経路を見直したほうが良い

エ)利用者の少ない時間帯は、減便など運行ダイヤを見直したほうが良い

オ)市の補助額を増やして対応したほうが良い。

